

松中だより

令和6年4月23日発行
東松山市立松山中学校
校長 梶田 英司

《学校教育目標》○思いやりのある生徒 ○健康で明るい生徒 ○自ら学習する生徒
窓から差し込む陽の光はいつの間にかすっかり初夏の輝きを見せてくれています。それに照らされた緑も目に鮮やかに映り、肌を撫でていく風も気持ちいい感触です。この季節の感触を「清々(すがすが)しい」と呼びます。

量子的跳躍 (コツコツのすすめ)

新入生歓迎会・松中オリエンテーション(合同体育)・避難訓練・健診など年度当初の慌ただしいスケジュールですが、どれも順調に進み、学校本来の躍動感が実感できています。

10分×5日×35週=1,750分。

これは、本校で伝統的に続けている「朝の読書」の年間で使う時間です。朝の落ち着いた雰囲気や大事な朝の会に向かう大切な機能を果たしています。たった10分なので少なく感じる人もいるのですが、読書習慣のない人には10分は長く感じるかもしれません。しかし、この10分間をコツコツつづけることで1年間のツールでは1,750分も本を読んだこととなります。

一步一步は進歩が遅いように思えて、後から振り返るとポンと飛躍的に伸びた瞬間があったことに気づくことがあります。これを「quantum leap(量子的跳躍)」といいます。勉強やスポーツをしているとき、なかなか上達しないけれど、コツコツ続けていたら、あるときいきなりグンッと伸びる経験をした、という人は少なくありません。ポンッ！と突き抜ける瞬間、飛躍的に伸びる瞬間が来るまでは、じっと我慢しなければなりません。ところが、多くの人がこの我慢ができず、努力をやめて、あきらめてしまうのです。

たかが10分、されど10分。あるとき突然、読解力が冴え始めることもあります。毎日のたったの10分がやがては恐ろしい程の力となって将来の皆さんを支えてくれるはずです。コツコツ続けましょう。

15分×5日×35週=2,625分

こちらは、清掃の時間を計算したものです。

校長室前の廊下掃除に4人の3年生が来てくれています。お掃除開始にあたり、右の資料をもってお話をしました。作法に則って廊下を磨いてくれています。4人ともがわずか3日目にして細かいところに気づき無言で磨いてくれています。掃除という手段を通して自分自身と向き合い成長できる貴重な時間とも言えます。現在の松山中で一番ぞうきがけの上手な4人だと感心しています。

ぞうじは人をつくる

ぞうじをする人は、

1 謙虚な人になれます。

ぞうじをする人は、謙虚になれます。謙虚になると人は人として、いろいろなことを学べます。謙虚になると、いろいろなことを学べます。謙虚になると、いろいろなことを学べます。

2 気づく人になれます。

ぞうじをする人は、気づく人になれます。気づく人になると、いろいろなことを学べます。気づく人になると、いろいろなことを学べます。気づく人になると、いろいろなことを学べます。

3 感動の心をはぐくめます。

ぞうじをする人は、感動の心をはぐくめます。感動の心になると、いろいろなことを学べます。感動の心になると、いろいろなことを学べます。感動の心になると、いろいろなことを学べます。

4 感謝の心が芽生えます。

ぞうじをする人は、感謝の心が芽生えます。感謝の心になると、いろいろなことを学べます。感謝の心になると、いろいろなことを学べます。感謝の心になると、いろいろなことを学べます。

5 心を磨くことができます。

ぞうじをする人は、心を磨くことができます。心を磨く人になると、いろいろなことを学べます。心を磨く人になると、いろいろなことを学べます。心を磨く人になると、いろいろなことを学べます。

つまり「できる人」になれます。

開校記念日：5月14日

昭和22年4月、「松山町立松山第一中学校」として設立された本校は、松山第一小学校の校舎の一部を利用していました。翌年、当時の松山女子高等学校が箭弓町へ移転。それに伴いその校舎跡地へ本校は移転しました。昭和25年に校歌を制定。翌年に松山第二中学校が本校に統合され、校名を「松山中学校」と改称しました。これまでに22,605名の卒業生がいます。校章は松の葉で「中」をデザイン化したものと考えられています。



航空写真



昭和26年頃

学力・学習状況調査と非認知能力



4月18日(木)には3年生が全国学力・学習状況調査を受けました。震災の関係で高知・愛媛・石川の一部学校が実施を見送りましたが、日本全国の中学校3年生がこの調査に参加しています。国語・数学の2教科のテスト(内容は2年生までに学習済み)と学習状況等に関する質問紙調査です。同じ日、同じ時間に日本中の中学3年生が同じ問題に取り組んでいるわけですから、夏に返ってくる結果が楽しみになります。

各教科では、日常生活を題材にし、「考察力」を試される問題が出題されました。国語では、インターネットの閲覧履歴などから関心のある情報が押し寄せ、包まれる「フィルターバブル現象」が取り上げられ、自分の考えをまとめる力が試されました。数学では、プログラム設定ができる「車型ロボット」の速さと停止位置の関係について「箱ひげ図」を使って説明を求める問題でした。

毎日の学習の中で、主体的に考えをまとめたり、論理的に書き出したりする学力をつけていく必要があります。つまりは、アウトプットする力とも言えるでしょう。かつて「授業」とは授けてもらうものでしたが、現在は主体的・対話的で深い学びが求められます。「自ら学習する生徒」の本質が求められています。

2年生は今年1年間の学習の成果を来年度4月に試すこととなります。来年度は理科も実施されますので毎時間の学習を大事にしていきましょう。

5月8日(水)・9日(木)・10日(金)には、それぞれ1・2・3年生が埼玉県学力・学習状況調査を受けます。昨年度からの学力の伸びを各個人ごとに測ることのできる調査です。前年度の学習内容(中1生は小6)が出題範囲です。

テストや通知表で示される成績は、いわば見える学力です。その見える学力の土台には、見えない学力というものがあります。見える学力を確かに伸ばすには、それを支えている見えない学力を豊かに太らせなければなりません。

氷山の水面上に見える学力、水面下で見えない学力と例えましょう。水面下にある氷山の底に氷を足していくと氷山はどんどん浮かび上がって、水面上に見える部分が多くなります。氷山の水面下が『非認知能力』と呼ばれる力です。



『非認知能力』は「真面目さ」「開放性」「外向性」「協調性」「精神安定性」の5因子が組み合わさって形成されます。義務教育中に特に重要視するのが「真面目さ」因子です。ある研究によると『知的能力は高くなくても良い成績を残す生徒の特徴は、欠席しない、忘れ物をしない、授業中よそ見をしたりふざけたりしない、ノートをしっかりとる、質問をよくする、理解できなくてもあきらめずに何度も挑戦する。』とあります。中学年代は「真面目さ」＝「やり抜く力」が重要です。

5月の主な行事



1	水	月曜日時間割	17	金	全校教育相談⑤ 眼科検診(1) PTA総会
2	木		18	土	
3	金	憲法記念日	19	日	
4	土	みどりの日 Wakamoe fes	20	月	前期教育実習開始~6/7まで 携帯安全教室
5	日	こどもの日	21	火	水曜日時間割 ふれあいデー
6	月	振替休日	22	水	火曜日時間割 尿検2次 眼科健診(2)委員会 7-7/ikin school
7	火		23	木	学級の日
8	水	埼玉県学力・学習状況調査(1)全校教育相談①	24	金	中間テスト
9	木	埼玉県学力・学習状況調査(2)全校教育相談②	25	土	
10	金	埼玉県学力・学習状況調査(3)全校教育相談③	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月	人権学習 部活動保護者会中心日	29	水	内科健診(1)
14	火	開校記念日 尿検2次	30	木	生徒総会 団抽選
15	水	全校教育相談④	31	金	内科健診(2)
16	木	比企通信陸上			